

ベニマシコ（アトリ科） 全長 15 センチ

3月27日、雄物川の岸边に向かった。周辺に生えている木々はまだ冬の装いです。芽吹き前の殺風景な林を探していたら、赤い鳥ベニマシコが目飛び込んできた。

赤い体のオスと比べ、メスは褐色で地味な色合いである。漢字で紅猿子と表記され、猿のような赤い顔の鳥ということでしょうが、少し可哀そうな名前です。



赤い顔のオス。

次々と飛来する夏鳥の中、早春の風景に一点の彩を添えるベニマシコ。いつまでも眺めていたい小鳥であったが、10数分で姿が見えなくなった。



翼の2本の白線が目立ちます。



メスは地味な褐色で、あまり目立ちません。



ちょっと首を伸ばしてオスのほうを見ていた。



尾羽はやや長めです。